

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



■第43回「日本賞」グランプリ日本賞を決定

NHKでは、教育コンテンツ国際コンクールとして、もっとも教育的効果が高く、教育メディアの発展に寄与するコンテンツに授与されるグランプリ日本賞を平成28年11月2日(水)に決定し、授賞式を行った(写真)。今回は58の国と地域から、316の作品と企画が寄せられた。グランプリ日本賞の栄に輝いたのは「消えたブロガー“アミナ”」(カナダ)。その他の入賞作品等、詳細については、http://www.nhk.or.jp/jp-prize/2016/winners2016_j.pdfを参照のこと。

協会情報

■ eスクール ステップアップ・キャンプ 2016 西日本大会

ICT活用の「認知から定着」を図るため、最新教材・教具の研修を通し、具体的体験的な情報提供を目指すことを目的に文部科学省共催、(一財)日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教具連合会主催による標記西日本大会が下記のように開催される。
(日時) 平成29年2月4日(土) 10:00~16:30
(会場) 神戸ファッションマート9Fイオホール他(神戸市東灘区向洋町中6-9)

(内容) 基調講演、講義・演習「校内研修リーダー養成 研修の実践方法について」、ワークショップ(模擬授業形式)、パネルディスカッション、デジタルポスターセッション&エキシビジョンツアー等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://eschool.javae.or.jp/>

■ 第10回日本視聴覚教育協会・井内賞授与される

視聴覚教育における若手研究者の優秀な論文を表彰する井内賞が、平成28年11月26日(土)、

奈良教育大学において開催された日本教育メディア学会の第23回年次大会総会において授与された。受賞論文「初等教育における学校図書館の学習環境の改善—情報活用スキルを育成するための学習環境整備の要件—」(塩谷京子・堀田龍也・久保田賢一)(敬称略)は、本誌10頁参照のこと。

文部科学省情報

■ 幼児教育の質の向上を支える研究と研修の在り方を考える—幼児教育140年の歴史から未来を考える—

国立教育政策研究所幼児教育研究センターでは、センター発足記念として、標記平成28年度教育研究公開シンポジウムを開催する。

(日時) 平成29年1月16日(月) 13:00~17:00
(会場) 文部科学省3階講堂(東京都千代田区霞が関3-2-2)

(内容) 「これまでの幼児教育と今後の展望」伊藤学司氏(文部科学省初等中等教育局幼児教育課長)、「幼児教育140年の歩み」室伏さきみ子氏(お

トピックス

全国ICT教育首長協議会総会・活動方針検討会 開催される

既報（本誌11月号26頁）のように、平成28年10月19日（水）、機械振興会館（東京都港区）にて標記総会、活動方針検討会が開催された。

総会では、役員選出（写真1）、規約、事業計画が審議された。事業計画では、ICT教育全国首長サミットつくば宣言を踏まえ、地域内外の教育資源を効果的に結びつけ、教育の情報化を推進させるために自治体相互の連携を図ることが確認され、以下の事業を推し進めていくことを決定した。

- 教育ICT加速化のための財源確保、制度改革等に係る国への要請
- 教育ICT加速化のための事業の実施（全国ICT教育首長サミット等）
- 都道府県・市区町村相互間の情報交換及び実践交流
- その他目的達成に必要な事業（教員の指導力向上・研修の協力要請）

続く活動方針検討会においては、自治体関係者、学識経験者、ICT関連企業の参加者により、4つの部会で活発な意見交換が行われた（写真2）。

以下、部会テーマと議論のポイント

1. 教育の情報化に向けた政策提言
 - ・政府の方針を地域で実現する連携体制



写真1

- ・地域が本当に求める地に足のついた活動
 - ・産業界との連動で技術情報、海外動向を
2. 効率的な環境整備
 - ・ICT環境整備計画の策定
 - ・財政部局との交渉での失敗・成功の共有
 - ・低価格で導入するための具体的方法
 3. 地域創生と教育情報化の情報発信
 - ・教育ICT活用を通じ地域貢献をしている成功事例
 - ・過疎化を食い止めるためにICT導入による学力向上に取り組んだ
 - ・中1ギャップを阻止するために遠隔授業を取り入れた
 - ・「ICT教育アワード年間表彰」の取り組み対象
 4. 教員の指導力向上・研修
 - ・協議会の初の取組として「研修モデルルーム」を
 - ・教員研修と教員の教育ICT指導力の向上の重要性
- 検討会では、自治体の抱えている課題について活発な議論がなされ、今後、協議会の果たすべき役割が確認されると共に、活動方針の具体化に向けた方向性が確認された。詳細については、<http://ictmayors.jp>を参照のこと。
- 〈問い合わせ先〉 全国ICT教育首長協議会事務局
（一財）日本視聴覚教育協会内
Mail info@ictmayors.jp



写真2

茶の水女子大学長）、講演「質の向上を支える研修と研究」秋田喜代美氏（東京大学大学院教授）、パネルディスカッション「今後の幼児教育の目指すもの：これまでの歩みとこれからの在り方」等。事前申込のこと。

〈問い合わせ先〉 「平成28年度教育研究公開シンポジウム」申込事務局（株）アイフィス内

TEL 03-5395-1202

AV情報

■ NHK番組アーカイブス 学術利用トライアル 研究募集

ブックレビュー



「デジタルで教育は変わるか」

赤堀侃司 著
 ジャムハウス 発行
 2016年7月21日刊 B6判
 248頁
 1,760円(税別)

教育の情報化が進められ次期学習指導要領に向けて学校のICT環境の整備不足が話題になる中で、ICTが導入されることで教育にどのような変化が起きているか、そしてこれから起ころうとしているかを、教育工学研究の第一人者である著者が書いている。

デジタル化がもたらす社会の変化や、人に求められる資質や能力について、「仕事の質が変わる」「教育モデルが変わる」「教育システムが変わる」「学習の仕方が変わる」「公式から非公式になる」「個人から協同になる」「学校から社会指向へ変わる」「準備から今へ変わる」「伝達から経験へ変わる」「コミュニケーションが変わる」の10の章で書かれている。

第1章では、変化している社会の状況がまず具体的にあげられ、その中に生きていくことになる今の子どもや学生たちに求められる力が書かれている。

第2章以降では、変化する社会の中で教育がどのような状況にあるかが、統計データや現在行われている実践をあげて書かれ、教育活動をデジタルがどう変えつつあるかも具体的に示されている。また、学校での学びが、実生活にどうつながっているかという事例もあげられている。これらの事例は、海外や国内での視察や研究を踏まえているので、読んでいるとその一つ一つにうなずきながら読み進めいくことができるものである。

各章ごとにまとめがあり、現状から変わりつつあること、そしてその変わる方向が社会に求められる方向であることが示されている。全体を振り返るには、この各章のまとめが大変役に立つ。また、最後に索引が用意されているので、具体的な事例を通して教育の情報化に関する用語を確認することで教育課題を理解することにも役立つ。

終章は「基本を守り個性を伸ばす」とされ、デジタルで教育は変わるかということへの筆者の考えがまとめられている。

(千葉県柏市立柏第二小学校長 西田光昭)

NHKアーカイブスで保存している番組を学術的に利用する方法を検討する本プロジェクトでは、プロジェクトに参加する研究者を募集している。
 〈応募者の条件〉 個人・グループでも参加可。ただし、以下にあてはまる方に限る。大学または公的研究所に所属する教員・研究者で、かつ日本学術振興会科学研究費補助金の応募に必要な研究者番号を持っている方など、他にも条件有。
 〈研究テーマ〉 自由だが、NHKアーカイブスの保存コンテンツの閲覧が不可欠で、そのアーカイブス学術利用の結果として論文執筆を行う。
 〈締切〉 平成28年12月22日(木) 18:00
 〈問い合わせ先〉 NHK知財センター・NHK放送文化研究所 (<http://www.nhk.or.jp/archives/academic/>) を参照のこと。

研究会情報

■ 情報教育コンファレンス

(公財)学習ソフトウェア情報研究センターでは、標記コンファレンスを開催する。

〈日時〉 平成28年12月14日(水) 13:20~15:50
 〈会場〉 アルカディア市ヶ谷6階阿蘇の間(東京都千代田区九段北4-2-25)

〈内容〉 講演「教育の情報化について」磯寿生氏(文部科学省生涯学習政策局情報教育課長)、「タブレット端末を活用した授業実践と得られた知見・課題」北澤武氏(東京学芸大学准教授)等。
 〈問い合わせ先〉 (公財)学習ソフトウェア情報研究センター TEL 03-6205-4531

■ 「タブレット端末活用セミナー2017」

(一社)日本教育情報化振興会では、「新学習指導要領を見据えた『授業づくり』『ICT環境づくり』」をテーマに標記セミナーを開催する。
 〈日時〉 平成29年1月28日(土) 12:50~17:05
 〈会場〉 東京コンファレンスセンター品川5階ホール(東京都港区港南1-9-36アレア品川)

〈内容〉 特別講演「新学習指導要領の最新動向(仮)」西川和孝氏(文部科学省初等中等教育局教

育課程課専門官)、実践発表「『タブレット端末×授業支援ソフト』、授業支援・学習活動支援ソフトウェア体験、パネルディスカッション「新学習指導要領を見据えたICT活用・環境を考える」等。
〈問い合わせ先〉 タブレット端末活用セミナー事務局 Sky(株)内 TEL 06-4807-6374

■ 第6回教育フォーラム

(公財)理想教育財団では、「学びが変わる、子どもが高める学級力!—アクティブ・ラーニングを創るはがき新聞の活用—」をテーマに標記フォーラムを開催する。

〈日時〉 平成29年1月22日(日) 13:00~17:50
〈会場〉 時事通信ホール(東京都中央区銀座5-15-8)
〈内容〉 特別講演「学習指導要領改訂の方向性—特別活動の新動向—」安部恭子氏(文部科学省初等中等教育局教科調査官)、基調講演「アクティブ・ラーニングとしての特別活動と学級づくり」杉田洋氏(國學院大学教授)、実践提案とシンポジウム「学級力向上プロジェクトとはがき新聞の活用」「はがき新聞で高める学級力」等。定員250名。事前申込制。下記を参照のこと。

<https://www.riso-ef.or.jp/>

〈問い合わせ先〉 (公財)理想教育財団
TEL 03-3575-4313

学会情報

■ シンポジウム「これからの大学の情報教育」

(一社)大学ICT推進協議会、情報処理学会主催により、標記シンポジウムが開催される。

〈日時〉 平成28年12月17日(土) 10:00~16:55
〈会場〉 京都大学吉田南地区内学術情報メディアセンター南館、国際高等教育院棟(京都市左京区吉田本町)
〈内容〉 基調講演「情報教育の参照基準—初等教育から高等教育までの体系化を目指して」萩谷昌己氏(東京大学教授)、パネル討論「これからの大学の情報教育」、教育課題別ワークショップ、ポスター発表等。

〈問い合わせ先〉 京都大学内 (一社)大学ICT推進協議会事務局 TEL 075-753-2189

各地の情報

■ 高森町ICT活用セミナー

熊本県高森町教育委員会では、平成28年度文部科学省委託事業『人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業』の一環として、「児童生徒の思考力・表現力の育成を図る学習指導の工夫・改善 新学習指導要領がめざす『対話的・主体的で深い学び』アクティブ・ラーニングの実現に向けて」をテーマに、標記セミナーを開催する。

〈日時〉 平成28年12月26日(月) 10:00~15:30
〈会場〉 くまもと県民交流館パレア(熊本市中央区手取本町8-9)

〈内容〉 基調講演「新学習指導要領がめざすアクティブ・ラーニングとは」新津勝二氏(文部科学省生涯学習政策局情報教育課情報教育振興室長)、ポスター発表、模擬授業等・研究協議、総括トーク等。
〈問い合わせ先〉 熊本県高森町立高森東中学校 本田教頭 TEL 0967-65-0023

文部科学省選定作品

■ 10月選定 紙紙しばい/DVD

「くぬぎちゃんのくるくるんぼうし」紙 8枚(幼稚園/幼児、教養)(株)童心社

「よくわかる! がんの授業」D 31分(中学校、保健体育/高等学校、保健体育)(公財)日本対がん協会

「下余呉の太鼓踊り~湖北の新しい風~」D 46分(青年・成人、教養)(株)CNインターボイス関西支社
「田山花踊~雨乞いと喜びの風流踊り~」D 33分(青年・成人、教養)(株)CNインターボイス関西支社
「野中の田楽~大宮神社の秋祭りと芸能~」D 35分(青年・成人、教養)(株)CNインターボイス関西支社

「10の基本ケア~あすなら苑の挑戦~」D 32分(成人、職業の知識技術(医療・福祉))(株)ドキュメンタリー工房

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

寄贈図書資料

「調査研究シリーズ70 メディア・リテラシー教育の実践事例集の開発」2016年9月、A4判131頁、(公財)日本教材文化研究財団